

みやぎ・復興の歩み 10

NOW IS.～「いま」を見つめて～

2011.3.11～2021.3.11

知事あいさつ

東日本大震災から10年が経過しました。この間、国内外の皆さまから開りました多大なるご支援、ご協力に改めて感謝申し上げます。

平成23年10月に策定した「宮城県震災復興計画」の最終年度に当たる今年度は、復興の礎仕上げに向けて全力を尽くすとともに、震災の記憶の風化防止と伝承のための取組に一層力を入れてまいりました。

このような中、「南三陸町震災復興祈念公園」の全体開園や「山元町震災遺構中浜小学校」の一般公開の開始、さらには、「石巻南浜津波復興祈念公園」「みやぎ東日本大震災津波伝承館」の整備など、県内各地に震災遺構・伝承施設が完成し、防災教育や震災の記憶を伝え続けるための取組が進められています。

一方で、心のケアやコミュニティの再生、原発事故で汚染された廃棄物の処理など、今後も中長期的に継続して取り組むべき課題も残っております。また、今年度は、世界的な新型コロナウイルス感染症の流行による外出自粛や休業要請等に伴う消費の低迷、観光客の減少、大型イベントの相次ぐ中止決定などにより、復興途上にある被災地の産業やなりわいは、大きな影響を受けました。今後は、アフターコロナにおける時代の変化を捉え、新たな地方創生の取組を推進してまいりたいと考えております。

令和3年度は、これまでの「創造的な復興」の理念を引き継ぎ「新・宮城の将来ビジョン」がスタートします。県民一人ひとりが輝く、元氣な宮城を皆様とともに築き上げ、震災を乗り越えていく宮城の復興の姿を広く発信するとともに、これまでのご支援に対する感謝を伝えたいと考えております。

「みやぎ・復興の歩み10」は、東日本大震災の発災から復興に向けた10年間の各地の取組とその経過、現在の復興状況等をまとめたものです。皆様からの応援を力に、今までも、これからも、復興に向けて一歩ずつ着実に歩みを進めていく宮城の姿をご覧ください。



宮城県知事
村井嘉浩

